

第2編 基本計画

第3章 健やかで安心して暮らせるまちを創る



ゆずっこ元気体操

第1節 地域福祉

【施策が目指す方向性】

○住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、住民やボランティア・NPOなどの各種団体と行政が協働し、住民一人ひとりの生活課題の解決に向けた仕組みづくりを推進します。

【指標】

指標名	現状値	目標値
	平成30年度	令和6年度
地域見守りネットワーク結成数	11地区	17地区

【現状と課題】

- 町では「住み慣れた地域で、それぞれの役割を担い、安心と活力のある町を築く」ことを基本理念とした地域福祉計画を策定し、地域福祉を推進しています。
- 「人づくり」「支え合いの仕組みづくり」「住民主体の地域づくり」を開始し、住民同士での支え合い体制づくりを促進しました。
- 今後も関係団体との連携を強化し、地域で包括的に支援できる体制づくりを行う必要があります。
- 高齢者のみに限らず、障害者や児童、生活困窮者など、支援を必要とするすべての住民や世帯が抱える課題を解決できる「我が事・丸ごと」の地域共生社会づくりを行う必要があります。

●ボランティア登録者の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
団体数（団体）	13	14	20	20	20
団体登録者数（人）	396	466	443	700	613
個人（人）	105	83	102	134	132

資料：毛呂山町社会福祉協議会

●生活保護世帯の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
世帯数（世帯）	551	549	560	566	570
人数（人）	700	704	714	717	711
保護率（%）	1.86	1.90	1.94	1.98	1.97

資料：福祉課

【施策】

施策名	施策の内容	主な事務事業
地域福祉活動の推進	複合化している福祉課題に対して、社会福祉協議会や民生委員・児童委員協議会と更なる連携を図り、「我が事・丸ごと」の地域共生社会の実現を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆社会福祉協議会の支援 ◆民生委員・児童委員協議会の支援
共助が実践される体制づくり	自治会や民生委員・児童委員等との連携を強め、地域懇談会等の開催を通じ、地域住民が地域生活課題を共有し、主体的にその課題解決を図る多様な支え合いの活動を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域懇談会の開催 ◆地域ふくしサポーター制度の拡大 ◆地域見守りネットワークの結成 ◆要支援者カードの作成
適切な福祉サービスの提供	複合化複雑化した課題に対応するため、総合相談支援体制の整備など、地域生活課題を解決するための包括的な支援体制の整備を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆福祉関係者等連絡会議による検討

【関連計画】

計画名	計画年度
第4期毛呂山町地域福祉計画・地域福祉活動計画	平成30年度～令和4年度

第2節 高齢者福祉・介護保険

【施策が目指す方向性】

- 高齢者が元気で自ら介護予防に取り組み、住み慣れた地域でいつまでも生きがいを持ちながら安心して暮らせる地域づくりを推進します。

【指標】

指標名	現状値	目標値
	平成30年度	令和6年度
住民主体の通いの場設置数	37地区	50地区

【現状と課題】

- 団塊世代が75歳になる令和7年には、要介護リスクが高い人や認知症の人の増加が見込まれ、介護保険制度をはじめとする高齢者福祉施策の充実は、町の重要な課題となっています。
- 高齢者の社会参加の支援や各種サービスの充実に努めました。今後も住み慣れた地域で生きがいを持って安心して生活が送れるよう支援の充実に図ります。
- 一般介護予防事業として「ゆずっこ元気体操」を実施しています。今後もいつまでも元気で自立した生活が送れるよう支援の充実に図ります。

●介護保険要支援・要介護認定者数の推移 (単位：人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
第1号被保険者	1,086	1,146	1,177	1,161	1,237
第2号被保険者	39	43	35	37	36
合計	1,125	1,189	1,212	1,198	1,273

資料：高齢者支援課

●高齢者数及び高齢化率の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人口 (人)	35,615	35,304	34,977	34,690	34,207
高齢者数 (人)	9,647	10,086	10,431	10,749	10,938
高齢化率 (%)	27.1	28.6	29.8	31.0	32.0

資料：埼玉県町（丁）字別人口調査結果報告

【施策】

施策名	施策の内容	主な事務事業
高齢者の 生きがいづくり・ 生活支援	高齢者の生きがいづくりや社会参加を推進します。各種サービスの充実により生活支援を行うとともに、増加する高齢者の生活支援ニーズに合わせた「活動・活躍の場」等を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 連合寿会・単位老人クラブの支援 ◆ シルバー人材センターの支援 ◆ ゲートボール場借地料等補助事業 ◆ 緊急通報システム事業 ◆ 給食サービス事業 ◆ 生活支援体制整備事業
介護予防事業の推進	既存の介護予防・生活支援サービス事業に加え、住民主体の訪問型サービスを開始する等介護予防事業の推進を図ります。また、一般介護予防事業を継続するとともに、介護予防が行える環境づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 介護予防・生活支援サービス事業 ◆ 一般介護予防事業
認知症支援施策の 充実	認知症検診事業、認知症ケアパス等の周知啓発を行います。また、各機関と連携し、地域における認知症支援体制の構築を図るとともに、支援の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 認知症ケアパスの普及 ◆ 認知症カフェ運営事業 ◆ 認知症初期集中チームの設置 ◆ 認知症検診事業
介護保険制度の 適正な運営	介護保険法等に基づき、適正な介護給付に努め、持続可能な介護保険制度となるよう健全な運営を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 介護保険事業 ◆ 介護保険事業計画の策定
地域密着型サービスの 促進	介護保険事業計画に基づき、地域密着型サービスの促進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域密着型サービス促進事業

【関連計画】

計画名	計画年度
第7期毛呂山町高齢者総合計画	平成30年度～令和2年度

第3節 子育て支援

【施策が目指す方向性】

- 地域資源を活かして町全体で子育て支援に取り組みます。
- 仕事と家庭生活を両立するための支援体制を整えます。

【指標】

指標名	現状値	目標値
	平成30年度	令和6年度
子育てサービスに関するアンケート調査（ニーズ調査）において、子育て支援サービスに対して「不満」または「どちらかといえば不満」と回答した割合	11.3%	5%

【現状と課題】

- 子どもや子育てをめぐる環境が大きく変化する中、子育て支援施策の拡充は大きな課題となっています。
- 毛呂山町子ども・子育て支援事業計画に基づき、各種支援施策の充実や施設整備、教育・保育の無償化などにより子育て環境の整備を図りました。
- 多様化する保育ニーズに対応するため、様々な保育サービスを提供しています。今後、子育て世代包括支援センターを中心に、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を提供し、地域における子育て支援機能の充実を更に図ります。
- 児童虐待の防止を図るため、児童相談所及び関係機関と連携して、子ども家庭総合支援拠点を整備し、包括的・継続的な相談・支援を行います。

●保育の状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
園数（園）	7	8	8	8	8
定員（人）	540	741	719	695	672
①町内認可保育施設保育実施児童数					
町内児童（人）	508	648	635	590	566
町外児童（人）	85	103	77	58	44
計	593	751	712	648	610
②町外認可保育施設利用児童数（人）	27	20	19	16	17
合計（①+②）	620	771	731	664	627

資料：子ども課

【施策】

施策名	施策の内容	主な事務事業
地域における子育て支援の充実	平成30年度に実施した子育てサービスにかかるニーズ調査結果を踏まえ第二期毛呂山町子ども・子育て支援事業計画を策定し、子育てニーズに対応した地域における子育て支援環境の整備を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ◆子ども・子育て会議 ◆町立保育所子育て相談 ◆地域子育て支援拠点事業 ◆ファミリー・サポート・センター事業 ◆児童館事業 ◆児童公園整備事業 ◆保育充実事業 ◆利用者支援事業 ◆就学援助制度
子育て家庭の経済的支援	子育てを行う親などに対する経済的負担の軽減を図るため、医療費や子ども手当などの適正な支給を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ◆こども医療費支給事業 ◆ひとり親家庭等医療費支給事業 ◆未熟児養育医療支給事業 ◆児童手当支給事業 ◆要保護・準要保護児童生徒就学援助事業 ◆子育て支援
要保護児童などへの対応	増加傾向にある児童虐待に対し、今後も予防及び迅速な対応を行います。	◆要保護児童対策地域協議会
幼児教育・保育の充実	幼児教育・保育ニーズに対応したサービスの充実を図り、安心して子どもを預けられる環境の整備を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ◆管外・管内保育委託事業 ◆民間保育所等育成事業 ◆放課後児童健全育成事業 ◆短期入所生活援助事業 ◆保育園整備事業 ◆病後児保育事業 ◆民間幼稚園預かり保育事業 ◆施設等利用給付事業 ◆補足給付事業

【関連計画】

計画名	計画年度
第二期毛呂山町子ども・子育て支援事業計画	令和2年度～令和6年度

第4節 障害者福祉

【施策が目指す方向性】

- 一人ひとりの状態にあったきめ細やかな相談支援とサービス提供が受けられ、安心して暮らすことができる地域づくりを目指します。
- 一人ひとりが持つ個性と能力を伸ばすことができる教育の充実、就労・社会参加支援により、意欲と生きがいを持ち、心豊かに暮らしていくことができる地域づくりを目指します。
- 交流活動を通じて障害に対する理解を深め、お互いを思いやり、共に支え合っていく取り組みを推進します。

【指標】

指標名	現状値	目標値
	平成30年度	令和6年度
計画相談支援事業者によるサービス等利用計画（障害児支援利用計画）の作成率	79.6%	100%

【現状と課題】

- 適切な障害福祉サービスを提供するためには、計画相談支援事業者によるサービス等利用計画が作成されていることが望ましいので、引き続き障害福祉サービスの支給決定の際には、計画相談支援及び相談支援を利用する人の増加を図っていく必要があります。
- 広域により障害者就労支援センターを設置し、就労支援の強化を図っていますが、障害者を雇用する企業等は少ないこと、また、就職後の離職率が高いことも課題となっています。今後も障害者就労支援センターと連携を図りながら、障害特性に応じた多様な働き方を可能とする就労支援の充実を図っていく必要があります。

●介護給付費・訓練等給付費の実績

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用件数（件）	4,678	5,042	5,343	4,223	5,683
給付費（千円）	477,143	509,425	526,998	557,825	554,504
給付費対前年度比率（%）	109.90	106.80	103.45	105.80	99.4

【施策】

施策名	施策の内容	主な事務事業
障害者の生活支援体制の整備	多様なニーズに対応する生活支援体制の整備、サービスの量的・質的充実を努め、地域での自立生活の支援や社会参加の促進に努めます。また、相談支援体制の充実を図り、障害福祉サービスの適切な利用を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ◆障害者相談支援センター事業 ◆介護給付・訓練等給付事業 ◆障害児通所給付費 ◆補装具費支給事業 ◆地域生活支援事業 ◆生活サポート事業 ◆福祉タクシー補助事業 ◆在宅重度心身障害者手当支給事業

施策名	施策の内容	主な事務事業
障害者の就労支援・自立支援	障害者の雇用確保と就労環境の整備について啓発に努めるとともに、各種雇用支援制度の周知・活用を図ります。また、一般的な雇用が困難な障害者については、自立訓練や生産活動、地域交流の機会を提供し、生産活動にかかる知識・能力の向上、社会参加の促進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ◆障害者就労支援センター事業 ◆喫茶店運営費補助事業
障害者の福祉医療施策及び福祉サービスの充実	障害者の福祉医療施策の充実に努めます。また、福祉サービスの充実に努め、障害の早期発見と適切な対応に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ◆重度心身障害者医療費支給事業 ◆自立支援医療（更生医療・育成医療）給付事業 ◆療養介護医療事業 ◆発達支援巡回事業
情報提供・コミュニケーション支援体制の充実	障害特性に応じ、多様な媒体により情報提供を行うとともに、的確に情報が届くための提供体制の充実に努めます。また、手話奉仕員などの確保や養成など、コミュニケーション支援体制の充実に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ◆手話講習会及び手話通訳者等派遣事業
広報・啓発の充実	様々な機会や媒体を活用しながら、障害についての正しい知識の普及や障害者に対する理解、障害を理由とする差別の禁止、成年後見制度についての啓発広報活動の充実に努めます。	

【関連計画】

計画名	計画年度
第四次毛呂山町障害者計画	平成30年度～令和2年度
第5期毛呂山町障害福祉計画	平成30年度～令和2年度
第1期毛呂山町障害児福祉計画	平成30年度～令和2年度

第5節 保険・医療

【施策が目指す方向性】

- 国民健康保険の財政状況が安定し、加入者が安心して医療を受けられるよう取り組みます。
- 24時間安心して救急医療が受けられる体制を整えます。

【現状と課題】

- 国民健康保険は広域化されましたが、財政状況は厳しい状況にあるため今後も財政健全化策や医療給付の適正化を図る必要があります。収納率向上を目指し、滞納処分の強化、高額案件の集中処理等積極的な取り組みを実施する必要があります。
- 健康ウォーク事業、予防検診、生活習慣病重症化予防対策事業等を実施することにより疾病予防の周知啓発を行いました。今後も町民の健康への意識高揚を図ります。
- 町には県内有数の規模を誇る埼玉医科大学病院があり、安心できる救急医療体制が整っています。医師会等の協力を得ながら、初期救急医療及び第2次救急体制のもとに、救急患者の医療を確保しました。今後も救急医療体制が安定的に提供されるよう関係機関と連携を図る必要があります。

●国民健康保険運営状況の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
被保険者の状況（年間平均）					
世帯数（戸）	6,429	6,357	6,196	5,972	5,741
一般被保険者（人）	10,448	10,297	10,018	9,550	9,100
退職被保険者等（人）	539	420	259	128	42
療養（医療）の給付の費用額（千円）					
一般被保険者	3,655,183	3,701,905	3,548,586	3,576,090	3,689,244
退職被保険者等	223,816	166,313	95,650	53,475	16,334
被保険者1人当たりの費用額（円）					
一般被保険者	349,845	359,512	354,221	374,459	405,412
退職被保険者等	415,244	395,984	369,307	417,772	388,916

資料：住民課

●後期高齢者医療被保険者の推移

（単位：人）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
65～74歳	100	85	88	83	76
75歳以上	3,918	4,197	4,497	4,827	5,126
合計	4,018	4,282	4,585	4,910	5,202

資料：高齢者支援課

【施策】

施策名	施策の内容	主な事務事業
国民健康保険財源の確保	平成30年度からの国民健康保険の広域化により、県から示される標準保険料（税）を基準とした賦課を実施し、収納率の向上を図り、財政の健全化に努めます。	
医療給付の適正化	診療報酬明細書（レセプト）の点検や、被保険者の資格の確認、医療費通知などにより、医療給付の適正化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ◆医療費適正化事業（レセプト点検） ◆医療費通知 ◆ジェネリック医薬品差額通知
保健事業の推進	毛呂山町国民健康保険保健事業実施計画をもとに、健康、医療情報を活用して効果的かつ効率的な保健事業の実施を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ◆健康ウォーク事業 （埼玉県コバトン健康マイレージ事業） ◆予防検診 （人間ドック・脳ドック）受検者補助 ◆生活習慣病重症化予防対策事業
後期高齢者医療制度の運営	埼玉県後期高齢者医療広域連合と連携し、制度の理解や保険料の収入確保などに努めます。	
救急医療体制の充実	24時間安心できる救急医療体制の充実を図ります。	◆救急医療対策事業

【関連計画】

計画名	計画年度
第2期毛呂山町国民健康保険保健事業実施計画	平成30年度～令和5年度

第6節 健康づくり・保健

【施策が目指す方向性】

○一人ひとりが健康な生活を送るために、様々な健康づくりの取り組みを推進します。

【指標】

指標名	現状値	目標値
	平成30年度	令和6年度
特定健診の受診率	47.9%	60.0%

【現状と課題】

- 高齢社会が進行する中で、生涯、健康な暮らしを送るためには、住民一人ひとりが健康づくりに取り組む必要があります。
- 町では、各種教室等で体操を実施したり、生活習慣病予防教室や健康診査後の特定保健指導、乳幼児健康診査において栄養指導・相談を実施したり、各種予防接種を実施する等、町民の健康に関する事業を行っています。今後も町民が生涯、健康な暮らしを送るために、住民一人ひとりが健康づくりに取り組めるよう、引き続き各種事業や相談支援を実施します。
- こころの健康相談やソーシャルクラブを実施しています。今後、平成30年度に策定した毛呂山町自殺対策いのちまもろー計画に基づき、町民のこころの健康や命を守る施策を推進します。

●保健事業の推移

(単位：人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
妊婦健康診査	2,729	2,812	2,420	2,399	1,890
乳幼児健康診査	749	686	700	634	563
特定健康診査	3,418	3,473	3,370	3,159	3,224
特定保健指導	183	227	192	225	237
がん検診	6,472	7,158	6,208	4,809	5,535
健康相談	1,475	815	574	827	707
健康教育	2,248	1,303	1,061	1,162	1,186
訪問指導	727	716	632	574	484

資料：保健センター

【施策】

施策名	施策の内容	主な事務事業
健康づくりの推進	運動や栄養面の啓発により、健康に対する意識を高め、住民の健康づくりを推進します。	◆健康体操普及事業 ◆食育推進事業
母子保健の充実	安心して妊娠から出産・子育てができるよう、パパママ教室・乳幼児健康診査や各種相談事業の充実に努めます。また、保護者の育児不安を軽減するため、訪問指導の強化に努めます。	◆乳幼児健康診査 ◆妊婦健康診査 ◆母子訪問指導・保健指導 ◆母子健康教育・発育発達支援事業 ◆乳児家庭全戸訪問事業 ◆不妊治療費等助成事業 ◆子育て世代包括支援センター
成人保健の充実	各種健（検）診、健康相談（心の相談含む）、健康教育・栄養指導などを推進します。また、総合検診・休日検診を実施し、受診環境の整備を図ります。	◆成人健康教育・成人健康相談 ◆各種検診・がん検診 ◆特定健診・特定保健指導・健康診査 ◆健康マイレージ事業
感染症の予防	予防接種率の向上を図るとともに、予防接種法による定期接種の改正に対応し、感染症予防に努めます。	◆予防接種
献血活動推進事業	赤十字血液センターや献血協力事業所と連携し、献血事業の推進や啓発活動を進めます。	◆献血活動推進事業
精神保健支援	こころの健康相談などにより、安心して暮らせるよう支援します。また、自殺対策計画の取り組みや進行状況等を把握し評価を行い、庁内関係課等と連携して、生きることの包括的な支援を推進します。	◆こころの健康相談 ◆精神障害者社会復帰支援事業 ◆自殺対策推進事業

【関連計画】

計画名	計画年度
第2次毛呂山町健康増進計画・食育推進計画	平成26年度～令和5年度
第2期毛呂山町国民健康保険保健事業実施計画 第3期毛呂山町特定健康診査等実施計画	平成30年度～令和5年度
毛呂山町自殺対策いのちまもろー計画	令和元年度～令和5年度

